

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

成長ホルモン治療が甲状腺機能へ与える影響に関する研究

[研究責任者]

小児科 江渕 有紀

[研究の背景]

成長ホルモン投与中に甲状腺機能の低下が起こりうることは過去に報告があり、また、中には LT-4 補充が必要となる症例もある。甲状腺機能低下が起こりうるタイミングや頻度、LT-4 補充を要する症例の傾向を調べることで、成長ホルモン投与前の甲状腺機能の評価、投与中の甲状腺機能のフォローの必要性について検討し、今後の加療に反映することができる。

[研究の目的]

GH 投与前後の血清 TSH、FT4 値の変動を調べ、GH 治療が甲状腺機能に与える影響を明らかにする。GH 分泌不全児と GH 分泌正常児の両者を対象に加えることによって、GH の生理的作用だけでなく薬理的効果についても調べる。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院で 2010/1/1～2015/12/31 に GH 治療を開始した成長ホルモン分泌不全性低身長症 (GHD)、SGA 性低身長症、Turner 症候群の児。

●研究期間

西暦 2010 年 1 月～2020 年 1 月

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報

- ① 臨床所見 (年齢、性別、病歴に関する情報 (周産期情報、既往歴))
- ② 血液所見 (TSH、FT4、)
- ③ 治療 (GH 投与開始時期 LT-4 内服開始時期)
- ④ 頭部 MRI 検査所見 (下垂体のサイズなど)

●検体や情報の管理

情報は、研究代表者機関である岡山医療センターに提出され、集計、解析が行われま

す。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）

独立行政法人国立病院機構

岡山医療センター

小児科 レジデント 江渕 有紀

●その他の共同研究機関：

守分正 国立病院機構岩国医療センター 小児科

長谷川高誠 岡山大学病院 小児科

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構

岡山医療センター

小児科 江渕 有紀

電話 086-294-9911（代表）

FAX 086-294-9255（代表）